

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	世界の芸術		
担当者(Instructors)	長谷川 潤子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

芸術の中でも美術の分野をテーマとする。実際に手を動かして、足を運んで、目で見て芸術を考える。具体的には、A：写真で表現→素描→作品制作、B：美術の歴史—グループワーク研究、C：美術の鑑賞—美術鑑賞レポートの3テーマで構成する。最初は一番身近な自己表現の一つである写真の手法から、効果的な表現方法を考えていきそれぞれが絵画作品に展開する。次に美術の歴史をグループで考察してクラスでまとめて共有する。最後は美術鑑賞のポイントとマナーをおさえて、自分で実際に鑑賞しレポートにまとめる。3つのテーマから興味を持った方法を選んで作品かレポートを完成させる。芸術を『知る』『感じる』『つくり、発信する』深く関わるきっかけをすることを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	<ul style="list-style-type: none"> ・各单元ごとに、4つの構成 1：解説、講義 説明 テーマ作品の鑑賞 製作の時代背景や、技術、構成を講義する。 2：提案または製作 絵画表現の体験 をする。鉛筆で描く作品制作のための練習ドリルまたは、プリント等使い同じテーマでの表現方法の提案。 3：発表講評。 (1) 調べてまとめる (2) 提出課題と感想提出で、考え方や各自表現の方法 工夫をクラス全体で共有。 4：次回の授業内容の準備

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業の説明 自己紹介	15回の授業の内容を説明と授業の進め方についての説明 自己紹介の写真作品をつくる。	<input type="checkbox"/>
第2回	写真で表現—作品制作 (1)	1. 自己紹介写真の発表。 2. 『今の自分を表現する』または『my favorite』をテーマに撮影する	<input type="checkbox"/>
第3回	写真で表現—作品制作 (2)	1. 写真家の作品を紹介 2. 参考にして前回の課題作品のブラッシュアップ	<input type="checkbox"/>
第4回	写真で表現—作品制作 (3)	1. 学生作品の発表と講評会 2. 素描作品に発展させる	<input type="checkbox"/>
第5回	美術の歴史—グループワーク研究 (1) 素描の練習	NHKびじゅチューンの動画を使用。興味のあるテーマを選び鑑賞、感想と作者などについて調べ考察をまとめてレポートを作成する	<input type="checkbox"/>
第6回	美術の歴史—グループワーク研究 (2) 素描の練習	レポートを持ち寄りグループをつくりミニプレゼン テーマを決めてグループで分担し課題を持ち帰り進める	<input type="checkbox"/>
第7回	美術の歴史—グループワーク研究 (3) 編集入力、素描の練習	データに資料をまとめる	<input type="checkbox"/>
第8回	美術の鑑賞—美術鑑賞レポート (1) それぞれの美術鑑賞のために	美術館を楽しむための手引き。美術館の役割と鑑賞のルールについて解説する	<input type="checkbox"/>
第9回	美術の鑑賞—美術鑑賞レポート (2) それぞれの美術鑑賞のために (日程変更の場合あり)	個人で県内の美術館で興味のある展覧会を鑑賞する *オンライン授業可	<input type="checkbox"/>
第10回	美術の鑑賞—美術鑑賞レポート (3) レポート作成	レポートをまとめて提出 *オンライン授業可	<input type="checkbox"/>
第11回	レポートテーマを決定	作品制作 研究レポートなど興味を持った研究テーマを選択	<input type="checkbox"/>
第12回	『伝える』方法	現代の美意識に深くかかわる印象派と浮世絵や写真との関連を時代背景から考察して、作品製作の参考にする	<input type="checkbox"/>

第13回	美しい絵画作品 世界の美意識	世界的に散らばる折り紙付きの『美』を地域、時代をまたいで紹介する	<input type="checkbox"/>
第14回	身近な美術	パブリックアートや建築、自宅や学校の近くにある美術作品を探して鑑賞、資料作成	<input type="checkbox"/>
第15回	課題のプレゼンテーション・講評採点	選択した課題の提出と発表 展示	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

- 1、各界最後に次の課題を説明。資料を準備して、自分の考えをまとめておく。その内容を授業の教材とする指定日までにLMSにあげる。
- 2、授業内で完成できなかったワークシートの仕上げ またはブラッシュアップ、及び講義に出た専門用語、名称の確認（30分から4時間）。レポートは授業内でも作成時間を設けるが、資料やメモの準備は必須。画材等の準備（初回説明）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

プリント課題については、その都度評価して返却。授業準備した内容（写真など）は、できるだけ話し合いの材料として全体で共有する。作品は学内にて展示を予定しています。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	作品を実際に製作する事で今まで理解しがたかった抽象芸術作品や 作者に対して接点を見つけたして、自分の言葉で意見が言うことができるか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			100%	

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

- (1) 写真と素描作品 20%、
- (2) 美術の歴史 グループ20%
- (3) 美術館レポート 20%
- (4) 選択研究作品 40%

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		